

【パネルディスカッションテーマ】

テーマ 1：本市のまちづくりにおける課題と官民連携の取組

テーマ 2：官民連携を進めるにあたっての課題

【主な発言内容】

○（阿南市長）岩浅 嘉仁 氏

人口減少社会や超高齢社会を迎える中で、活力ある地域を作っていく必要がある。PPP 事業として DBO のエコパーク阿南が代表的な取組である。官民連携事業は、官と民のノウハウの相乗効果が期待されるものであり、限られた人材や資金を有効に活用するため、導入を進めている。

○（須崎市長）楠瀬 耕作 氏

将来の人口減少を見据え公共施設の集約再編を計画する上で、地震津波等防災対策は喫緊の課題。老朽化した公共施設等を集約し、津波避難の機能を持たせた施設整備を官民連携で進めようとしている。その他、下水道施設等に関するコンセッション事業にも取り組んでいるが、官民連携の理解が十分ではないため、WIN-WIN を目指し更に広く周知する必要がある。

○（高松市長）大西 秀人 氏

公共施設の老朽化が進行するなか、ファシリティマネジメントの視点から官民連携の必要性が生じている。衰退している観光地の再生のため、官民連携の取組が必要。官民連携の取組として、PPP ロングリストの整理と当該リストからの官民連携事業の抽出、屋島再生等個別案件への PPP/PFI 導入の検討等をしている。意思決定時の判断基準や透明性・平等性の確保、関係者の合意形成等が課題。

○（新居浜市長）石川 勝行 氏

多くの公共施設が老朽化するなかで、限られた財源でどこまで公共サービスの質を維持できるかが課題。過去にも PFI 導入の検討は行っており、現時点では導入に至っていないが、今後も官民連携手法を検討していく。導入にあたっては、財政的なメリットやそれ以外の定性的なメリットをどう地域に理解してもらうかが課題。



【官民連携（PPP/PFI）事業の推進に向けた首長意見交換会】



【（阿南市長）岩浅 嘉仁 氏】



【（須崎市市長）楠瀬 耕作 氏】



【（高松市長）大西 秀人 氏】



【（新居浜市長）石川 勝行 氏】



【（徳島大学大学院 理工学研究部 教授）
山中 英生 氏】



【（松山大学 経済学部 教授）
鈴木 茂 氏】



【（香川大学大学院
地域マネジメント研究科 教授）
村山 卓 氏】